

# GUIDE BOOK ガイドブック

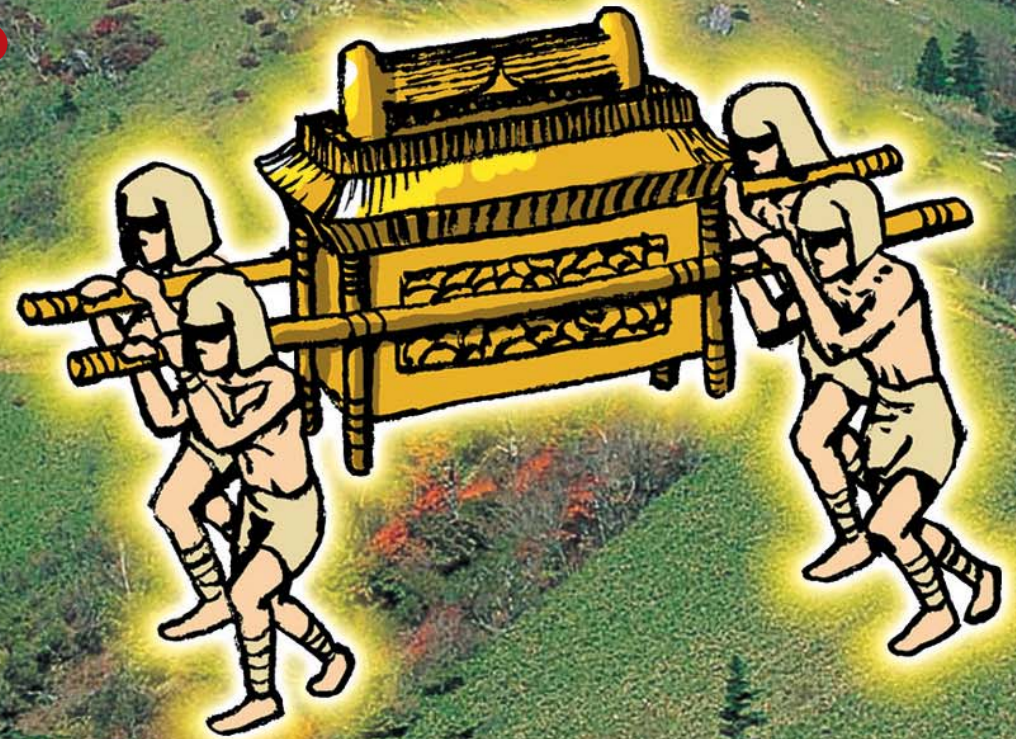
石版



マナの壺



アロンの杖



## 剣山 ソロモンの 秘宝伝説



## まえがき

実は、我々が暮らすこの四国には大変興味深い伝承があります。その伝承とはこの四国には邪馬台国が存在したのではないかと、また、古代イスラエルから来た支族がこの地を創り収めていたのではないかと、あるいは、旧約聖書に登場した山があり、その山が剣山だった!? 古代史研究の話題の地として日本のみならず海外からも注目されています。その中でも学術的調査を目的としてイスラエル大使も訪れた山、剣山にスポットを当てて、このガイドブックを綴ります。

## 剣山登山の心得

登山は自己責任が原則です。天気予報などの情報収集をした上で、体調を整え体力に合った適切な日程、コースを選びましょう。見の越より頂上へは、最短でリフト15分と徒歩40分です。歩きやすい服装・くつと雨具で登山に臨んでください。剣山には、日本国内でも希少な動植物が多くあります。世界的にも希少なキレンゲショウマの群生や、動物では、ツキノワグマ、ニホンカモシカ、野生の鹿、猪、リス、ニホンサル等々。剣山の自然を守りながら、剣山をより多くの方に知っていただきたいと思ひます。山では、【 のこして良いのは「足跡」だけ、とって良いのは「写真」だけ 】この言葉を合言葉に、剣山の謎を紐解きに出かけましょう。



## 1. 頂(いただき)に眠る財宝



剣山(つるぎさん)は、四国に位置する標高1,955mの山で、近畿以西の西日本および四国第二の高峰であり、徳島県の最高峰である。徳島県三好市東祖谷、美馬市木屋平、那賀郡那賀町木沢の間に位置する。日本百名山の一つ。別名太郎笈(たろうぎゅう)と呼ばれ、南西側の次郎笈と対峙する。

一帯は1964(昭和39)年3月3日に剣山国定公園に指定されている。国立公園法によって、全国には国立公園が19箇所、国定公園が16箇所指定されている。

この山に残る伝承

剣山は実は人工のピラミッドである。  
歴史上の人物が訪れた地である。  
ソロモン王の財宝が眠るとされる。  
失われた聖櫃(アーク)が眠るとされている。

## 2. カミの神



天岩戸(あまのいわと)とは、日本神話に登場する、岩でできた洞窟である。天戸(あまと)、天岩屋(あまのいわや)、天岩屋戸(あまのいわやと)ともいい、「岩」は「磐」あるいは「石」と書く場合もある。太陽神である天照大神が隠れ、世界が真っ暗になった。岩戸隠れの伝説の舞台。



天照大神(あまてらすおおみかみ)

日本神話に登場する神。

皇室の祖神で、日本民族の総氏神とされている。

この伝承は古事記、日本書紀にも登場する。

全国に天岩戸は11箇所存在している。

なんとこの天照大神は、卑弥呼(ヒミコ)ではないかと唱える研究者もいる。

### 3. 意外なつながり



アークとは約3000年前、シナイ山でモーゼが神から授けられた十戒を刻んだ2枚の石版をしまった箱とされる。  
アカシヤで造られ、金箔で内側、外側を覆われている。  
この石版のほかにアロンの杖、マナの壺もしまっているとされている。



神輿(みこし)との共通点

アークの上部には2つの天使(ケルビム)の像が羽を広げて向かいあっている。日本の神輿も金で覆われていて、神輿の上には鳳凰が羽を広げている。アークの下部にも担ぎ運ぶとされている2本の棒があり同じく神輿にも担ぎ棒が存在する。

—メモ—

A series of horizontal dashed lines for taking notes.

## 4. イスラエルと日本の共通点

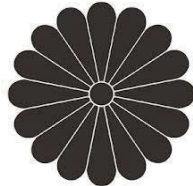
アークと神輿の共通点だけではイスラエルと日本とのつながりの根拠として不十分ではあるが、下記内容も踏まえると偶然の一致で片付けられない。

### その1 神官と山伏



山伏が額につける兜巾(ときん)と神官の「ヒラクティリー」の酷似。「ヒラクティリー」とは『旧約聖書』の言葉を収めた小箱である。山伏が吹く「ほら貝」の音は、ユダヤ人の祭りに使われる「ショーファー」という羊の角で作った吹奏器とそっくりである。

### その2 エルサレム神殿の門の紋章と天皇家の家紋



偶然とは言い難く形状のみならず「16弁の菊花紋」まで一致している。

### その3 7月17日について

ユダヤの「シオン(ZION)祭り」は7月17日に行われ、日本の三大祭りの1つである京都の「祇園(ぎおん)祭り」も同じ日である。「ギオン」は「ジオン」の転訛(てんか)だと指摘する研究家がいる。そして、この日は剣山本宮のお祭りも行われている。しかもお祭りの内容は神輿を担いで山頂を駆ける。またこの日は旧約聖書でノアの方舟がアララト山に漂着した日とされている。

余談だが、御輿を担ぐ時の掛け声の『エッサ』をヘブライ語で訳すと、なんと『運びます』となる。



## その4 イスラエルからの大移動

古代イスラエル王国がソロモン王の死(BC928年)後、北イスラエル王国(10支族)と南ユダ王国(2支族)に分裂し、北イスラエル王国はBC722年にアッシリア帝国に滅ぼされ、10支族はイスラエルの地から連れさられ、以後行方不明(失われたイスラエル10支族)になる。この時に神殿にあった契約の箱がなくなったとされている。

現在イスラエルでは、失われたイスラエル10支族の探索と帰還を図るため、「アミシャープ」という専門の機関を作り、既にアジア各地でDNA鑑定も含め10支族の末裔を見つけており、最も有力な候補として日本の天皇家をあげている。



ソロモン王とは、旧約聖書の「列王記」に記されている古代イスラエルの二代王ダビデを父に持ち自身も列王記に記され古代イスラエル王国の三代王にして、同国を最盛期に導いた人物である。優れた政治家であるとともに人並み外れた知恵者でもあったとされている。

最盛期に13年がかりで神殿を建造し先王ダビデ時代からの悲願だった「契約の箱(聖櫃)」が収められ、ついにエルサレムは名実ともにユダヤ教の聖地となったのである。

## その5 日本神話の系図と、旧約聖書にあるエフライム族の系図



日本神話の系図と、旧約聖書にあるエフライム族の系図を比較すると違いは名前だけで、系図は一致している。

日本最初の天皇、神武天皇の名前は「カム・ヤマト・イワレ・ビコ・スメラ・ミコト」、日本語からでは理解不可能だが古代ヘブライ語で考えると意味を成す。

古代ヘブライ語で「カム・ヤマトウ・イヴリ・ベコ・シュメロン・マクト」、すなわち「サマリヤの王、ヤハウエのヘブル民族の高尚な創設者」となり、失われた10支族との関連性があると思えない。

ちなみに、サマリヤは、古代ユダヤの北イスラエルの首都になる。

この他にも共通点を唱える研究家が存在し、その中には元イスラエル大使エリ・コーヘン氏も含まれ、上記に述べた共通点を含むこれらの情報は偶然の一致ではなくイスラエルと日本との深いつながりを意味するのではないかと考察している。

## 5. 祖谷(いや)の民謡(うた)

九里きて、九里行って、九里戻る。

朝日輝き、夕日が照らす。  
ない椿の根に照らす。  
祖谷の谷から何がきた。  
恵比寿大黒、積みや降ろした。  
伊勢の御宝、積みや降ろした。  
三つの宝は、庭にある。  
祖谷の空から、御龍車が三つ降る。  
先なる車に、何積んだ。  
恵比寿大黒、積みや降ろした、積みや降ろした。  
祖谷の空から、御龍車が三つ降る。  
中なる車に、何積んだ。  
伊勢の宝も、積みや降ろした、積みや降ろした。  
祖谷の空から、御龍車が三つ降る。  
後なる車に、何積んだ。  
諸国の宝を、積みや降ろした、積みや降ろした。  
三つの宝をおし合わせ、こなたの庭へ積みや降ろした、  
積みや降ろした。

この民謡は祖谷地方に残る民謡である。  
かなり意味深い歌詞だが大黒天とは、伊勢の御宝、諸国の宝とは…  
真相を知る人物はもういない。  
剣山の西側にある祖谷から、当時剣山で行われた何かが民謡と  
して受け継がれた可能性がある。

—メモ—

## 6. かごめ、カゴメ

ここでかなりの人が耳にしたことのある民謡を取り上げる。  
その民謡とは『かごめ かごめ』。

かごめかごめ 籠の中の鳥は いついつ出やる  
夜明けの晩に 鶴と亀がすべった 後ろの正面だあれ？

この唄は記録が残る限りでは1751年～1772年に収録された竹堂随筆  
(ちくどうずいしゅう)に記されている。

わらべうた、あそびうたとして各地に伝わったが、この歌の真意は本当に  
それだけだろうか？

この歌詞を古代イスラエルでも使われていたヘブライ語で訳すると

カゴ・メー カゴ・メー 誰が護る 誰が護る  
カグ・ノエ・ナカノ・トリー 硬く安置された物を取り出せ  
イツイー・イツイー・ディユウー 契約の箱に封じ込められた神器を取り出せ  
ヤーアカヴァニティー 神譜を取り 代わるお守りを作った  
ツル・カメ・スーベシタ 未開の地にたくさん水をひいて  
ウッシラ・ショーメン・ダラ 水を溜め、その地を統治せよ

と訳せてしまう。

これは都合のいいように言葉を転訛させた結果だが都合よく契約の箱や  
神器などの聖櫃(アーク)を想像させる言葉が出てくるだろうか？

しかも四国の山上にはかなりの数の池があったとされる痕跡があり、その  
数は200を越す。火山活動はないとされる四国では、池が人工的に造ら  
れたと判断してもいいのではないか。

人が生活するにあたって水は欠かせないもの。

しかも水を流すのに高い位置から低い位置に流水のは至極当然。

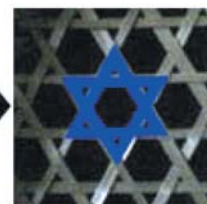
では高い位置となると山となるはず。

なので山に池があるのは不思議なことではない。

この条件に当たる地域は全国にあり、この剣山がその場所であるとの  
断定にはこの時点では至りにくいがこの唄のヘブライ訳は、見当違いとも  
言い切れなくなる。

この唄には日本語とヘブライ語両方の意味を持たせているのではないか？

次は、この唄の題名でもあるかごめについて。



かごめは三角を上下に重ねた  
図形(星型)に見える。



こちらはイスラエルの国旗  
中央に描かれているのは  
ダビデの星。

この紋様は剣山麓近辺の神社に描かれている。



## 7. ツルとカメ

かごめに登場する鶴と亀について。

長寿と繁栄を意味し、縁起の良い生物とされる鶴と亀。  
剣山にもこの鶴と亀の名にちなんだ岩がある。  
そして、剣山は、鶴亀山と呼ばれていた時期もあった。

山の名前で鶴と亀が使われている山は全国にあり、この剣山だけ特別視すると真実を捻じ曲げてしまうのではないかと考えるが、日本の象徴である天皇家とのこの四国の繋がり、日本とイスラエルとのつながりを考慮しても有力候補の一つである事に違いはないはずである。

こういったように様々な情報がある中、剣山に人生を賭して調査をした人物がいた。高根正教（たかね・まさのり）とその息子、三教（かずのり）は約90年間この剣山を調査した。  
その場所は剣山の鶴亀岩周辺だったのである。



## 8. あとがき

この鶴亀岩周辺での発掘作業の結果。

人工的な一枚岩の発掘に至り、その一部が麓の神社に納められているとされている。  
高根正教に続き海軍大将でもあった山本英輔（やまもと・えいすけ）も発掘調査を行っている。

高根正教が発掘したとされるものは人工的な一枚岩のみならず、風化して判断しかねたとされるがミイラらしきものの中にはあり、剣山には何かしらの人工物があつたのではないかと推測される。

しかし、国定公園に認定されたこともあり、発掘を伴う調査はそれ以降行われておらず、現代の研究家はこの地を訪れ、来る日のために備え現場検証・現場考察などを行っている。

どの研究家も、この山での宝探しが目的ではなく、人類のルーツを紐解く大変デリケートな調査と捉えていることに間違いはない。

この剣山付近には偶然とは言えない史跡や伝承が存在している。

それらの点を繋ぐのは、あなたかも知れない・・・